

平成22年度第10回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会

日 時 : 平成23年2月2日(水) 18:00～19:20

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員 : 8名

出席者 : 3名

佐村 博範(琉大病院)、増田 昌人(琉大病院)、仲本 奈々(琉大病院)

陪席者 : 呉屋 葉子(琉大病院がんセンター)

[報告事項]

1. 平成22年度第9回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨(資料1)

平成22年度第9回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨が承認された。

2. 5大がん地域連携クリティカルパス事業の申し込みについて(資料2)

事務局より、新たに専門施設に1病院が追加されたことが報告された。

3. 次年度事業計画について(資料3)

事務局より、次年度事業計画が報告され、承認された。

4. 次年度予算(案)について(資料4)

事務局より、次年度予算案について、離島の委員の旅費を経費に入れてはどうかと意見があり、WGの協議事項にすることとなった。

[協議事項]

1. 平成22年度5大がん地域連携クリティカルパス研修会について(資料5)

3月10日、佐村委員が沖縄県医師会館で研修会を行うことが決定した。

2. 沖縄県がん診療連携協議会のホームページ掲載について(資料6)

ホームページに、適用症例を掲載することが決定した。

3. 平成22年度第4回5大がん地域連携クリティカルパス運用ワーキンググループ協議事項について(資料7)

報告事項は、適用症例数を報告することとし、協議事項は以下の通りとなった。

①次年度の研修会の開催方針について

②離島の委員の旅費負担について

③運用WGの開催回数について

④地域連携パスの活用のための方策について

4. がん診療ネットワーク構築のための渉外活動について

事務局より、前回のシエントミーティングで、連携の対象となる症例があっても、紹介元が沖縄県5大がん地域連携クリティカルパス事業のかかりつけ医施設として登録していない施設がある。連携パスによる運用症例数を増やすために、院内の各疾患の担当医に日常的に連携している3～5施設を確認し、その施設に対して連携パスの趣旨説明と連携パスを用いた連携のお願いを行ってはどうかと意見があったことが報告された。

そこで、佐村委員が日常的に連携している施設に対して、連携パスを行うことが決定した。

その施設が、地域連携クリティカルパス事業のかかりつけ医施設として登録されていなければ、事務局より、かかりつけ医施設になって頂くよう依頼をかけることとなった。

5. 運用WGの開催回数について

事務局より、運用WGの開催を年4回の開催から、年2回にしてはどうかと意見があり、WGの協議事項とすることとなった。

6. 次回の開催日程について

次回は平成22年3月2日（水）に平成22年度第4回5大がん地域連携クリティカルパス運用ワーキングを行うことが承認された。